

高松大学 高松大学大学院 高松短期大学 認定こども園高松東幼稚園

2023. 9



Course 1

総合ビジネスコース

一般企業の総合職、銀行員、公務員などの幅広い職種をめざします



人から好意をもたれ信頼される基となるビジネスマナーを身につける

Course 2

医療事務コース

医療事務、医療秘書、病院受付、医療クリニック、調剤薬局の受付などをめざします



医療機関で通用する医療事務・医療秘書のエキスパートを育成

Course 3

グローバルビジネスコース

一般企業の総合職・受付、ショールーム・ホテル・レストランスタッフ、販売・サービススタッフなどをめざします



グローバル社会において幅広い分野で活躍できる人材に

Course 4

ヒューマンITコース

IT活用の機会の多い総合職、公務員などをめざします



これからの社会を見据えてICTに強い人材を育成

ビジネスデザイン学科へと学科名称を変更します。



令和6（2024）年4月、高松短期大学秘書科は、

高松短期大学秘書科
学科長 森 靖之

本学の秘書科は、「国際社会で活躍できる有能な秘書の育成」を目的として、「秘書科」としては全国で2番目に開設しました。開設40周年を迎え、現在では全国で唯一の「秘書科」となりました。これまでの卒業生が企業や医療機関等で築いてきた実績は今もなお高い評価をいただいております。「高短秘書科」ブランドとしてこれからも継承するべきものと考えております。

ビジネスデザイン学科には、「総合ビジネスコース」「医療事務コース」「グローバルビジネスコース」「ヒューマンITコース」の4コースを設置し、秘書科で培ってきた、秘書（マナー・接遇）・プレゼンテーション・情報・コース別専門・キャリア教育や資格・検定取得対策に加え、デザイン思考の3つの要素といわれる「ユーザ目線の発想」「手を動かしながら考える思

令和6（2024）年4月、ビジネスデザイン学科スタート！



早稲田大学と対戦し、早い時間帯に

四国大学サッカーリーグでは、2回戦で鳴門教育大学と対戦し、8対0で勝利した。準決勝では、高知大学と対戦し、前後半共に両者無得点で延長戦に突入した。延長前半12分、コーナキックに辻岡招真（経営学部2年）がヘディングで合わせて決めたゴールを守り抜き、1対0で勝利した。決勝では、聖カタリナ大学と対戦し、

高松大学サッカー部は、「2023年度四国大学サッカートーナメント」で優勝し、「第47回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント」に出場することとなった。

高松大学サッカー部 総理大臣杯に4大会ぶり2回目の出場！

考「協力して課題を進めるチームワーク」を身につけ、経験値を上げるための授業をこれから充実させていきます。そして、幅広い職種に対応できるビジネス実務能力の高

い人材、時代の流れに対応し、地域社会で活躍できる人材を育成してまいります。今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

先制、フリーキックで得点を重ね、2対0で勝利した。5年ぶり2回目の出場となる総理大臣杯では、1回戦で関東地区第5代表の中央大学と対戦する。



第27回 高松大学祭
第54回 高松短期大学祭
 11/11(土)
 12(日)



大学祭実行委員長
 経営学部経営学科2年
 國宗 健大



11月11日・
 12日に、『来
 てんまい!ば
 んばこ秋祭り』をテーマに大
 学祭を開催します。

地域の方々はもちろん、遠
 方からも足を運んでいただき
 たいという思いを込めて、
 「来てんまい!」という讃岐
 弁をテーマに採用しました。
 また、祭りに来たような気分

で楽しんで欲しいという思い
 も込められています。

メインステージでは、実行
 委員会が、〇×ゲーム、カラ
 オケ、ビンゴなどを企画し、
 クラブ・サークルが演奏ライ
 ブ、ダンス、カンフー演武、
 マジックショーなど日頃の成
 果を披露します。そのほか、
 毎年ご好評をいただいている
 子ども向けのイベントをはじ
 め模擬店や作品展示など多彩
 な企画も準備しております。
 大学祭実行委員会が中心とな

り、全学をあげて高松大学・
 高松短期大学の魅力をアピ
 ルします。ご家族、ご友人お
 誘い合わせのうえ、是非ご来
 場ください。

『げんき村16丁目
 わんぱく通り』



「げんき村」16丁目村長
 発達科学部子ども発達学科3年
 尾形 知夏

今年で16年
 目を迎え、「げ
 んき村16丁目
 わんぱく通り」となりました。

今年のテーマは、『げんき
 村のわくわく生き物ランド』
 です。フェルト等で作った昆
 虫集めや空気砲、魚釣りなど
 の遊びを企画しています。制
 作コーナーでは、生き物帽子
 作りの体験ができます。
 また、芝生のスペースでは、



子どもたちに大人気のジャグ
 リングもお楽しみいただけま
 す。

げんき村では、子どもたち
 の発達段階を考えたおもちゃ
 や遊び方を提供できるように
 工夫しています。子どもたち
 が楽しめる空間づくりをめざ
 し、一人でも多くの子どもを
 笑顔にしていきたいです。

ぜひ、お子さまと一緒に
 ご来場ください。元気いっぱ
 いのげんき村住人がお待ちし
 ております。

『はいくのくに』
 開催に向けて』



保育学科1年
 三木 翔星

「はいくの
 くに」は、大
 学祭の中で、

保育学科が開催する子どもた
 ち参加型のイベントです。

今年のテーマは、『ワクワク、
 おとぎの国へようこそ!』で
 す。私は、『はいくのくに』運
 営委員長として、大学祭の運
 営に関わりながら各研究室が
 行う催し物を調整するなどの
 取りまとめをしています。

また、私が所属する美術研
 究室では、『はいくのくに』



のメイン会場である2号館2
 階へ子どもたちを迎え入れる
 ための大きな看板を製作して
 います。私が考えたイラスト
 が採用され、みんなで協力し
 ながら段ボールにアクリル絵
 具で描いています。

私たちが製作した看板や各
 研究室のたくさんさんの催し物で
 子どもたちに喜んでもらえる
 ように頑張ります。

『令和5年度定期演奏会』 ご案内

【日時】11月30日(木)
 18時30分開演
 【場所】レクザムホール 小ホール
 (高松市玉藻町9-10)

入場
 無料

学内選考で選ばれた学生と高松大学アカデミー
 ウィンドアンサンブルによる演奏会です。ぜひご
 来場ください。

高松大学

発達科学部

小学校教員採用試験を受験して

発達科学部子ども発達学科4年

上柿 菜月

7月中旬に
香川県で実施
された小学校

教員採用試験を受験しました。私を含め、受験した4年生は日々努力を積み重ねてきました。過去問題が解けず、自分の不甲斐なさに悔しい思いをしたり、教員採用試験対策講座などを継続することの大変さから諦めそうになったりした時には、互いに励ましあいました。つらくても頑張り続けることができたのは、同じように教員をめざす友人の支



えがあったからです。

また、先生方にもあらゆる面で支えていただきました。私たちのために各教科に特化した筆記試験対策の講座を開講してくださり、集団討論や模擬授業の練習では様々なアドバイスをくださいました。教員採用試験を通して、仲間たちと共に頑張ることの心強さ、支え合うことの大切さを感じました。

経営学部

西安外事学院との交流

経営学部経営学科4年

山根 鈴香



西安外事学院
で日本語を学

ぶ学生とのリモート交流会に参加しました。西安外事学院から約25人、本学からは5人が参加し、お互いの国や趣味等に関する質問を投げかけ、情報交換を行いました。

西安外事学院の学生は、日本や香川県、そして参加した本学学生への関心が高く、私の予想を超えていました。特に、西安外事学院の学生からの「好きなアニメは何ですか?」という質問に回答したところ、そのアニメが7〜8

高松短期大学

保育学科

保育所でのボランティア活動に参加して

保育学科1年 十亀 純



7月8日、
長覚寺保育所
で開催された
夏祭りにボラ
ンティアとして参加させてい
ただきました。

踊りやゲームなどをやり遂げるたびに、誇らしげな表情を浮かべていた子どもたちの様子がとても印象的でした。また、子どもたちの興味・関心を広げ、その表情を引き

年前に流行したものであったにもかかわらず、多くの学生から「見たことがある!」との声があがって話が盛り上がり、日本のアニメが海外にも深く浸透していることに驚きました。

同世代で流行っているものや個人的な趣味の話題で盛り上がったことは、日本人の友人同士の会話と同じ感覚であり、国籍の違いを全く感じず非常に楽しいひと時を過ごすことができました。



出すために、先生方は、手作りの道具や遊べる環境を用意していらつしやることを知りました。そして、その遊びをよ

り充実させるための子どもたちへの声掛けの大切さや遊ぶ環境と子どもへの関わりの重要性を学ぶことができました。今回、ボランティアとして温かく迎え入れてくださり、実際の保育現場で学ぶ貴重な機会を与えてくださった長覚寺保育所の皆様に、心より感謝を申し上げます。

秘書科

真の感動と笑顔創造とは

秘書科1年 増田夕華子



今回の学外
セミナーでは、
ユニバーサル
スタジオジャ

パンと屋島山上に行きました。このセミナーに参加することで、私がサービスというものをはにかに表面的にしか見ていなかったかということを痛感しました。

セミナーを体験するまで、サービスの意義は「感動と笑顔を届けること」と漠然と考えていました。しかし、実際に観光施設を訪れ、自分も一顧客になる中で、多くの方々の表情を目にし、笑顔や感動の水面下にある価値観や想いは、十人十色であることに気づきました。セミナーを通して、そういった方々の真の想いを汲み取り、サービスをすることが、心からの笑顔や感動をお届けできることに繋がると考えるようになりました。私自身も、こういった個人々人の心の奥底にある想いを汲み取り、地方の観光地活性化の鍵となるようなサービスをめざしたいです。



探訪／研究室

発達科学部 野町 真知子

●自己紹介



高松大学に
来て2年目
になります。
以前は保
育所、こ
ども園で
保育士と
して働いて
いたため、
保育士と
しての経験
をもとに、
みなさん
と一緒に保
育や子ども
たちについて
学んでいき
たいと思
います。

●ゼミナールの特徴

実際に保育現場に立った際、現場で役立つように、知識や技術を身につけることができ、活動をみんなで相談しながら行っています。

●ゼミ生へ一言

子どもたちに関わる身近な大人として大切なことについて、一緒に学んでいきましょう。

●二十歳の時の自分

実習がある忙しい年でしたが、実習以外の期間に車の免許を取り、短期留学をし、今では考えられないくらい色々なことに挑戦していました。

学生が地域の物産を愛し 販売するプロジェクトを実施

経営学部高塚ゼミナール学生が、学生や教職員に楽しいランチタイムを過ごしてもらおうと、昼休みの時間を利用して地域の物産を販売するプロジェクトを企画。第1回目の7月6日に2年生が、PaBeRu高松店のパンを販売した。販売促進のためのプロモーション活動として、プロジェクトのキャッチフレーズや商品選定、ポスター作成等を行い、当日は、販売ブースの設置、値札貼り、販売や会計など、各々が役割分担して行った。学生の積極的な声かけもあり、販売開始直後から売れ行きは好調で、終了予定時刻よりも早くすべての商品を売り切ることができた。



入学定員変更のお知らせ

高松大学及び高松短期大学は、令和6年度から次のとおり入学定員を変更します。

大学名	学部・学科名	入学定員 (変更前)	入学定員 (変更後)
高松大学	経営学部経営学科	95名	105名
	発達科学部子ども発達学科	80名	70名
高松短期大学	保育学科	80名	40名
	秘書科	70名	50名

経営学の知識を実践に活かすことで、実際のビジネスをリアルに体験した学生たち。事前に設定していた販売目標をクリアし、自信を深めるとともに、さらなる高い目標に向かって、新たな販売戦略を練っている様子。9月以降、月1回程度、大学近隣の店舗の商品（パンやスイーツ等の食品）を販売する予定で、今回は3年生が挑戦する。今後も、学生が主体的に活動できる学びの機会を、学内外で数多く提供していく。

●認定こども園高松東幼稚園ニュース●

年長組、どきどきわくわくのお泊り保育!! ～屋島少年自然の家にて～

高松東幼稚園の一大行事の一つである、年長組の『お泊まり保育』。今年は2年ぶりに「屋島少年自然の家」に泊まることができました。

期待と不安を胸に、いざ出発!! 先に到着していた先生達がトンネルを作って出迎えてくれ、みんなの表情がパッと明るくなりました。海では輝くような夏の陽差しの中、いかだや海浜遊びを楽しみました。暑さ対策の為にシャワーさえも子どもたちにとっては面白いようで、元気な歓声が響き渡りました。夜は



肝だめしにキャンプファイヤー、そして、お風呂。友達や先生との心の絆が更に深まったようです。

自分の事や係の仕事も立派にやり遂げていましたよ。仲間と共に、楽しみ、協力し、頑張る子どもたちの姿に、大きな成長を感じました。屋島の豊かな自然の中でどきどきわくわくした経験は、これからの頑張る力や自信につながっていくことでしょう。



キラリ☆輝く人 サービス接遇検定1級合格



秘書科2年
堤 明優夏さん

接客・サービスに必要な専門知識やコミュニケーション能力を認定する資格「サービス接遇検定」の最難関である1級を取得。他にも秘書技能検定2級、ビジネス文書技能検定2級、ファイナルシヤル技能士等を取得した。

堤さんは、「毎日積み重ねた努力や想いが、『合格』という形で結果として表れたことが、本当に嬉しい。また、勉強を通して多くの知識を得ることで理解できることが増え、日々自己成長していることを実感している。そして、辛い時いつも側で私を励まし支えてくれた家族、先生、友人に感謝を伝えたい。今後も、様々な分野の検定・資格を取得するために勉強し続けたい。」と抱負を語ってくれた。

続いて、薛劍総領事等と本学留学生との懇談会に6名の留学生が出席し、留学生を代表して符東旭さん（経営学部4年）、秦婷婷さん（経営学部4年）が大学生活の説明等を行った。

本学からは佃学長他4名が会談に出席し、これまでの国際交流や留学生受け入れの状況等を説明した後に、これからの交流等に向けて意見交換を行った。

中華人民共和国駐大阪総領事 御一行が本学を訪問

を行った後、薛劍総領事から激励のお言葉をいただいた。本学留学生にとって大変貴重な経験となった。



高松キワニスクラブ 助成金贈呈式

6月13日、高松キワニスクラブから本学の「げんき村」に対する助成金贈呈式が行われた。

贈呈式では、高松キワニスクラブの山地圭二会長から「げんき村」村長の尾形知夏



さん（発達科学部3年）へ、ボランティアを行う次世代を担う青少年への人材育成を目的とした助成金が贈呈された。尾形さんからは、お礼の言葉と共に、これからの活動に対する決意が述べられた。

まちづくり タウンミーティングを開催

7月21日、24日、本学多目的ホールで「高松市まちづくりタウンミーティング」が開催された。

このタウンミーティングは、次期高松市総合計画の策定に当たり、市政の課題を若者と共有し、意見交換を行い、素



案へ反映させるため、7月21日は経営学部と秘書科の学生、7



月24日は発達科学部と保育学科の学生が参加した。始めに、「夢と誇りを持てる世界都市・高松を目指して」のテーマで大西市長が、次期高松市総合計画の基本構想やまちづくりの目標、それに関連する取組についての講演を行った。

次に、「若者が夢と誇りを持つて、高松市に住み続けたいするために」というテーマのパネルディスカッションでは、各学部・学科の学生代表がパネリストとして、専攻分野、将来の目標、関心を持つまちづくりの目標分野などを踏まえながら発表を行い、佃学長がファシリテーターを務め、大西市長との意見交換を行った。パネリストを務めた学生た



ちはもちろん、参加した学生たちにとっても、高松の魅力を再認識し、市政の課題と向き合い、地域の発展を願って地域創生に取り組む良い機会となった。

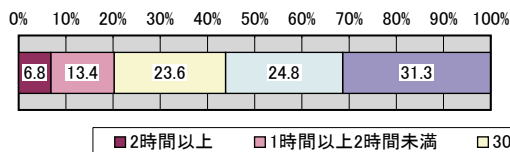
令和4年度 学生による授業評価

本学では、教育活動がどのようになされているかの一端を把握し、授業内容・方法の改善・改革に資することを目的に、平成14年度から学期末に「学生による授業評価」を実施している。集計結果は、個々の授業ごとに担当教員のコメントを付して、翌年度の5月31日付けでPDFファイルにてDVDに保存し、附属図書館で閲覧できるようにしている。また、ホームページに大学、短大それぞれの全体集計結果を掲載している。

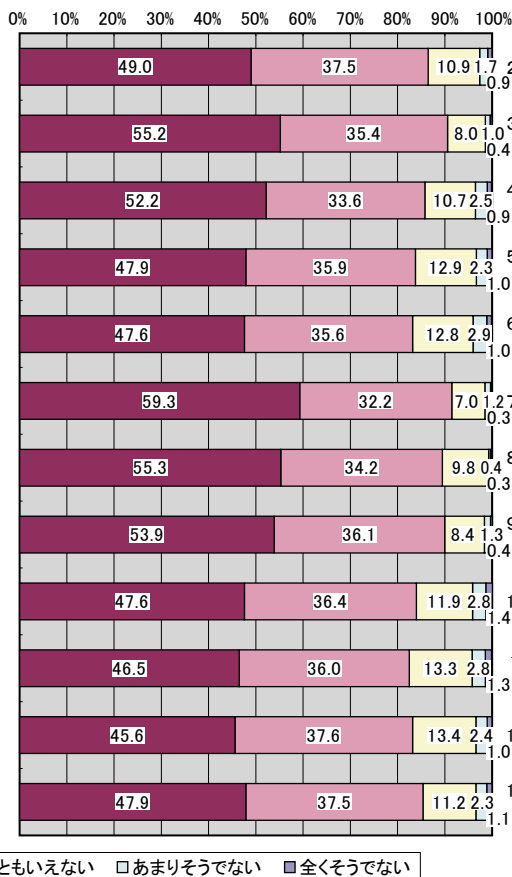
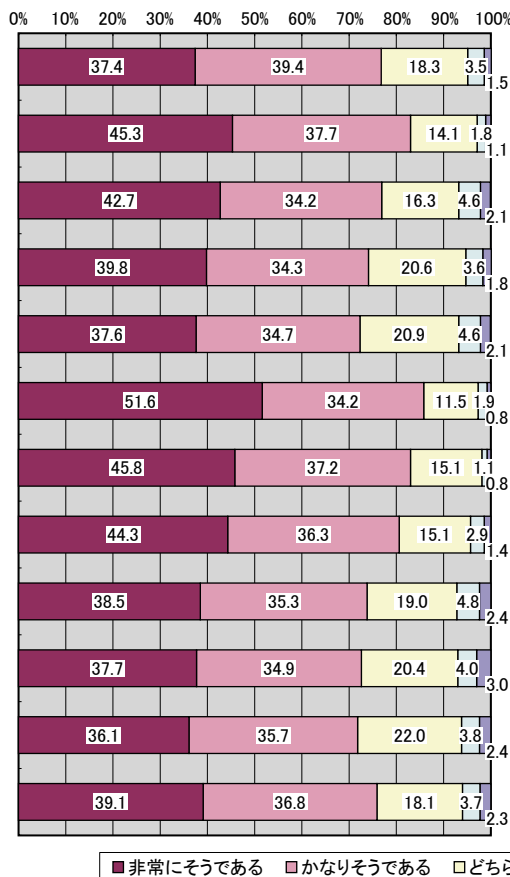
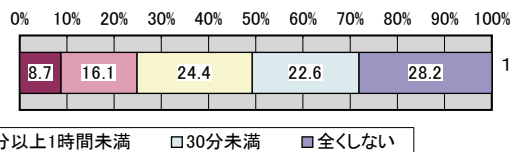
次のグラフは、令和4年度に実施した全体の集計結果である。回収率は、大学が58.69%、短期大学が76.42%であった。

また、本学の「授業評価による教員表彰に関する規程」に基づき、令和4年度の授業評価において優秀な評価を得た教員として、大学から発達科学部の藤本駿先生、短期大学から保育学科の森本将行先生、大学院から井藤正信先生、松繁寿和先生が表彰された。

高松大学



高松短期大学



☆たーちゃんが登場するPR動画「たーちゃん『対話と実践』が未来を拓く篇」をYouTubeチャンネルに公開しました。ぜひご覧ください。(N)

編集後記

学長表彰

本学では、学術・文化・スポーツなどで顕著な成果を挙げた学生を対象に「学長表彰」の授与を行っています。
令和5年8月末現在の表彰は以下のとおりです。

クラブ・個人名	適 用	表 彰 日
ハンドボール部	[スポーツ部門] 第62回中四国学生ハンドボール選手権春季リーグ戦I部 優勝	令和5年6月8日
サッカー部	[スポーツ部門] 四国大学サッカートーナメント兼総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント四国地区予選会 優勝	令和5年8月8日